

小学生と交流しよう ～小学生の出し物と川遊び、昔遊び～

1 活動の概要

ふれあいの家南筑後で小学生による紙芝居やジャンケン汽車ぼっぼを行って和んだ後、ふれあいの家南筑後の近くを流れる星野川の堰で水遊びを行った。そして、地域のボランティアさんの指導のもと、お手玉やあやとり等の昔遊びでふれあいを深めた。

2 活動のねらい

- 小学生との交流を通して、小学生への親しみや小学校入学への期待感を持たせることができるようにする。
- 日頃、経験することのない河川での遊びを体験することにより、自然と触れ合うことの楽しさを味わうとともに、自然を大切にする態度を養う。
- お手玉やあやとり等の昔遊びの体験を通して、昔遊びの楽しさのすばらしさに気づかせるとともに、友だちと協力することの大切さを認識させる。

3 準備するもの

- 〈川遊び〉水着、帽子、サンダル、水筒、救急箱
- 〈昔遊び〉おはじき、お手玉、ゴムボール、毛糸、ゴム、広告紙、紙風船等

4 活動場所

- 屋内（動き回ることができる広さの部屋）
- 流れの緩やかな堰
- ※車が近くまで入ることができる場所（けが人の移送をスムーズに行うため）

5 活動の展開



(1) 小学生の出し物とふれあいゲーム

①小学生の出し物

- ・小学生による紙芝居
- ・小学生の作ったクイズ

②ふれあいゲーム

- ・ジャンケン汽車ぼっぼ
- ・人数集めゲーム等

- ※司会進行等を小学生にまかせ、幼児の興味
・関心を高める。



(2) 川遊び

①約束の確認

- ・危険箇所の確認（滑りやすい所や深い所等）
- ・裸足にならない
- ・一人で行動しない

②遊びの内容

- ・うつ伏せやお向け
- ・水かけ等



(3) 昔遊び

①遊び方の説明

- ・地域のボランティアより実演を交えての説明

②遊びの内容

- ・あやとり
- ・お手玉
- ・おはじき等

※小学生とペアを組むように指導する。

6 留意点

○安全確保

- ・危険箇所には大人が立ち、子どもたちを見守る態勢を整える。
- ・守るべき約束事を子どもたちの理解できるような平易な言葉で話し、徹底できるようにする。
- ・大雨や雷の可能性等、天気予報を十分に確認しておく。

○場所の設定

川の水量が時期、時間帯によって変化はないか、川の深いところはないか、堰や川底にビンや缶等、子どものけがしそうな物は落ちていないか、堰が滑りやすくなっているところはないか等、事前に調査を行っておく必要がある。

○ボランティアの確保

昔遊びに詳しい地域のボランティアの方に来ていただくと、指導を的確に行うことができ、子どもたちの昔遊びへの興味・関心がさらに増すものと思われる。

7 活動の発展・応用

○施設・学校で…交流宿泊体験活動、調理体験活動 等

○園 場で…拾った石を使ってのストーンペインティング
昔遊びを年少者等へ教える 等